



かがやく瞳

令和4年度

2023. 3. 10

No. 40

別れの日が近づく ～卒業式まであと2登校日～

学校の中の掲示物が、今週ガラッと変わりました。職員室前廊下の壁一面を埋めていた花火宣言カードは、卒業生への寄せ書きの掲示へと変わりました。お花紙で作った花が壁面に咲くようになりました。昨日からは在校生と卒業生と一緒に卒業式全体練習を行いました。

「ひだまり学年の11人が集まっていると、そこにひだまりができる。」そんな人たちでした。登校の時、登校班の6年生が休んでいない日の「おはようございます」はどこか曇っていました。縦割り班、委員会などでも6年生がいるだけで下級生は安心して活動できました。修学旅行で6年生がいない学校は、少し物足りない感じがしたと言います。6年生ありがとうの会で、寄せ書きをもらった6年生が下級生に「うれしい。ありがとう。」と素直に喜びを伝え、班の一人一人と両手で握手をしていました。みんな自然に手を差し伸べ、中には握手の手を離さない子もいました。そんなことがさりげなく行えるあたたかい心をもった11人でした。きっと卒業してもそれぞれの場で、ひだまりのように優しくまわりをあたためる人として進んでいくことでしょう。

いよいよ春、別れの季節となることがひしひしと感じられるようになってきました。さびしいけれど、支度を着実に進めて、ひだまり学年11名の門出をお祝いしたいと思います。15日卒業式の朝は、「しっかりお別れをしてくるんだよ。」と声をかけて送り出してください。



「握手して～」

4年ぶりの鮭の放流

コロナ禍で3年間中止になった「鮭の放流」が昨日4年ぶりに行われ、鮭の稚魚5万尾が福部内川に放流されました。

子どもたちは、稚魚を痛めないように優しく放流したり、橋の上から「がんばれ。」と鮭の稚魚に声をかけたりして、放流を楽しむことができました。わくわく橋はその名の通りわくわくする場となりました。「行えるようになって、よかったですな。」と思いました。

5年生の〇〇〇〇〇さんが最後のあいさつで述べたように、学校の近くに川があることを大切なことと思って、続けていきたいことだと思いました。「大仙市漁業組合」と地域の「環境と緑を守る会」の皆様にお世話になりました。ありがとうございました。

子どもたちも鮭のように戻って来てほしいなあ。



橋の上から応援

「鮭チャンがんばれ～」



そーっと放流

文集「古四王」完成

文集「古四王第41号」をご家庭に配布いたします。

子どもたちが行事や日常生活の中で、思ったことや考えたことを綴りました。所々にその子らしい見方や考え方が見られます。自分のお子さんだけでなく、他のお子さんの文章も読んでいただきたいと思います。

書いて、文字・文にすることは、ぼんやりとしている思いや考えをはっきりさせ、思う力・考える力を強くしてくれます。そして、心を豊かにしてくれます。

学校多忙化の中で文集が消えていく傾向にあります。その時流に乗らず指導した先生方、執筆した子どもたち、印刷・製本してくれた校務員さんに感謝いたします。